



5年生が自然教室に行ってきました。

6月23日(金)、24日(土)、5年生は四日市市少年自然の家へ1泊2日の自然教室に行ってきました。天候が心配されましたが、ほとんど雨に降られることもなく、無事に晴天のメニューで、1泊2日の日程を終えることができました。1日目は、入所式⇒里山保全活動⇒カヤック体験⇒野外炊事（炊事場：夕食・片付け）⇒キャンプファイヤー、2日目は、朝のつどい⇒ウォークラリー⇒退所式・解散式の順で活動を行いました。今回はその活動の一部を紹介したいと思います（裏面に続きます）。

【1日目】＜入所式＞

朝、通常通り学校へ集団登校をし、出発式をした後、徒歩で約3kmを歩いて四日市市少年自然の家へと向かいました。ふれあい広場に到着すると、最初につどい係の進行で入所式を行い、その後みんなで集合写真を撮りました。入所式では、最初に水沢小学校の校歌を歌いました。その後、四日市市少年自然の家の職員の方からのお話、校長からの話、5年生代表からのあいさつがありました。

四日市市少年自然の家では「挑戦する心」「感動する心」「発見する心」の3つが、活動するためのキーワードとなっています。校長からは、「この3つの心を意識して今回の活動が行えるように」ということと「時間を守る」「人（相手）の話を聞く」ことを大切にしようとして子どもたちに話しました。職員の方からは、「自分のことは自分でします」「友だちに迷惑をかけません」「次に使う友だちのことを考えます」といった利用の約束が話されました。

＜里山保全活動（1番目）＞

まず、四日市市少年自然の家の職員の方の指示で、のこぎりを腰につけました。その後、先導していただき、「赤のこみち」を下りていきました。常緑樹を班ごとに2本選んで伐採し、切った切り口を前にして、「赤のこみち」の入口まで運び出しました。直径5cmほどある常緑樹を切って運んでいる班もありました。切った常緑樹を大門池広場まで運び、枝を払い、幹を30cm程度に切りそろえました。切りそろえた幹や枝は、大門池広場の所定の格納場所へと納めました。



里山保全活動の時間が余ったので、職員の方が葉っぱジャンケンを教えてくださいました。葉っぱを3枚探して集め、大きい葉っぱ対決、長い葉っぱ対決、ツルツルの葉っぱ対決、黄色い色の葉っぱ対決、トゲトゲの多い葉っぱ対決、いい匂いのする葉っぱ対決をしました。

＜カヤック体験（2番目）＞

午後からはカヤック体験をしました。濡れてもいいように服装を準備して、大門池広場へと向かいました。大門池広場では、まず職員の方からライフジャケットの身に着け方、パドルの使い方を教えてもらい、簡単にストレッチ体操をしてから、ライフジャケットを身に着けました。大門池に移動して、パドルをまっすぐに立てて全員で記念撮影をしました。その後、指導員の方から乗船時の注意を聞き、2人1組でカヤックに乗り込みました。指導員の方からは、右に曲がったり、左に曲がったりする方法や後ろ漕ぎについても教えてもらいました。自由時間には、「右、左」と声をかけてパドルを上手に操作し、どんどん前に進んでいるペアもありました。楽しそうにカヤックを乗り進めていました。最後には、赤、青、黄、緑色4つのうきにカヤックを漕いでタッチする競争をしました。天候も良く、みんな楽しそうにカヤック体験の時間を過ごしていました。



＜野外炊事（3番目）＞

カヤック体験の後は、野外炊事を行いました。火を起こしたかまどに、なべ（ニンジン、たまねぎ、じゃがいも、豚肉を切って、水を入れました）、飯ごう（お米を水で研いで入れました）を置きました。なべは液体クレンザーを使って、横と底をべったりコーティングをし、すす汚れを



防ぐ対策をしました。ご飯がかたかったり、焦げていたり、カレーがスープ(?)になっていたり、いろいろありましたが、みんなで「いただきます」をして、おいしくいただきました。

飯ごう炊飯の終盤から、引率者以外の教職員の方々がたくさんかけつけてくれて、かまどの処理やスープカレー(失礼?)の残りを味見していただきました。

夕食が終わると、使ったなべのすすをとって洗い、返すときに四日市市少年自然の家の職員の方に点検してもらいました。しっかりと磨かないと合格がもらえません。合格をもらったグループは「やったあ」と喜びを分かち合っていました。やり直しのグループは、どこがダメなのかを教えてもらって、磨き直して再度点検してもらっていました。



<キャンプファイヤー(4番目)>

飯ごう炊飯後、夜7時頃から大門池広場でキャンプファイヤーを行いました。最初にセレモニアルファイヤー(オープニングファイヤー)を行いました。「遠き山に日は落ちて」を歌った後、火の使いが入場し、営火長(校長)に火を移し、営火長から3人の点火係に分火しました。誓いの言葉を全員で言った後、薪に点火し、キャンプファイヤーが始まりました。「もえろよもえろ」を全員で歌い、火を囲んで、係の子たちが「古今東西」ゲームや「マイムマイム」を踊ること等を進行して楽しませてくれました。



最後には、「セレモニアルファイヤー(クロージングファイヤー)の中でみんなで「今日の日はさようなら」を歌って、キャンプファイヤーを終えました。少し弱い雨が降る時間帯もありましたが、無事外でキャンプファイヤーを行うことができてよかったです。

【2日目】

<ウォークラリー(5番目)>

「ふれあいの森」を使って、ウォークラリーを行いました。展望台や炊事場、大門池など8つの場所でチェックポイントが設けられ、それぞれ担当の先生からミッションが与えられることになっていました。大門池では私がミッションを与えていたのですが、記念撮影をした後、



「班で考えて面白いポーズをとってください。全員でもいいし、それぞれがポーズをとってもいいですよ。制限時間は2分間です」と言ったら、協力して写真にあるようなポーズをしてくれる班もありました。子どもたちの発想は、本当に無限で夢がありますね。私の持ち点は50点満点だったのですが、思わず70点をあげてしまいました。



<退所式・解散式>

退所式では、四日市市少年自然の家の職員の方からのお話、校長からの話、5年生代表からのあいさつがあり、2日間の活動の振り返りをしました。退所式では、児童代表があいさつの中で「班で協力して活動したウォークラリーが一番楽しかった」と述べていました。

2日目のウォークラリーは、本校教員のほとんどが協力してチェックポイントに立ち、ミッションを与えていましたし、前日のキャンプファイヤーもほとんどの教職員が参加して、ボンファイヤー(ゲーム、ダンス、歌など、とにかく楽しむ)等に参加をし、子どもたちとのふれあい、語り合いを深めていました。子どもたち同士だけでなく、子どもと教職員との心の距離も大きく縮めることができた有意義な時間とすることができました。

この1泊2日の自然教室を通し、5年生は自然教室で大切な「挑戦する心」「感動する心」「発見する心」の3つに加え、『なかまを大切に作る心』を体現することができたのではないのでしょうか。今までなかなかわからなかった学級のなかまの良いところを知り、お互いの絆を深めることにつながった充実した2日間とすることができました。そして、5年生の子どもたちと教職員との心の距離を縮める内容の濃い時間とすることができました。



保護者の皆様には、子どもたちの送迎で大変お世話になりました。職員一同感謝いたしております。自然教室開催にあたり、ご理解、ご協力、誠にありがとうございました。(文責 北住 昌文)